政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE FOR POLICY STUDIES
GRIPS

一般財団法人 アジア太平洋研究所
ASIA PACIFIC INSTITUTE OF RESEARCH
APIR

GRIPS 開発フォーラム・APIR 共催セミナー

町工場からアジアのグローバル企業へ
―中小企業の海外展開戦略と支援策―

■趣旨

海外展開の新時代が到来し、ものづくり中小企業が独力で海外進出するケースが急増しています。これは、町工場がアジアを舞台にグローバル企業に雄飛し、日本型ものづくりで現地の産業発展に貢献する「共創」の時代ともいえます。ただし、経営資源が限られた中小企業が成功するためには、大企業を中心とした海外進出より、はるかに広くて深い、現地社会との「つながり」が必要になります。中小企業の海外展開戦略と支援策はどうあるべきでしょうか。今後、日本はものづくりでアジアとどのような関係を築くべきでしょうか。

こうした問題意識のもと、このたび、政策研究大学院大学（GRIPS）と大阪を拠点とした（一財）アジア太平洋研究所（APIR）による3年間の共同研究成果の出版を記念し、セミナーを開催いたします。

セミナーでは研究チームからの報告に続き、①アジアのグローバル企業に雄飛し、中小企業目線で現地ベースの支援にも取り組んでいる先駆的企業（ユニカホールディング社）の経営者、②ベトナム進出を決定、夢をかなえるために邁進している中小企業（荻原鉄工所）の経営者、そして③ベトナムと日本の架け橋となり現地社会に根づいた支援をしている若手起業家（DS in Japan）、の皆様にご講演いただきます。

アジアとの「共創」、「ものづくりパートナーシップ」をキーワードに、新時代の海外進出戦略や支援策のあり方について、皆様と一緒に考える機会になればと願っています。

■日時　2015 年 7 月 16 日（木）　15:00～18:00　（14:30　受付開始）

■会場　政策研究大学院大学（GRIPS）　1階会議室　1A, 1B
〒106-8677 東京都港区六本木 7-22-1　（http://www.grips.ac.jp/jp/about/access/）
・都営大江戸線　六本木駅　徒歩 5 分
・東京メトロ日比谷線　六本木駅　徒歩 10 分
・東京メトロ千代田線　乃木坂駅　徒歩 6 分

■プログラム

15:00～15:15　開会（議事進行：長嶌朱美、GRIPS 開発フォーラム）

共催者ご挨拶　澤 昭裕（アジア太平洋研究所（APIR）副所長・事務局長）

15:15～15:45　講演1 「町工場からアジアのグローバル企業へ：ものづくりパートナーシップの提案」
――大野 泉（政策研究大学院大学（GRIPS）教授、APIR 上席研究員）

15:45～16:15　講演2 「パイオニア企業としてのユニカ社の経験と中小企業目線での現地支援」
――安見 義矩 氏（ユニカホールディングス株式会社　代表取締役社長）

16:15～16:45　講演3 「零細企業のグローバル展開とその課題：零細グローバル企業への夢と現実」
――荻原 強 氏（有限会社　荻原鉄工所　代表取締役社長）

16:45～17:15　講演4 「日越パートナーシップ」
――山本 雄次 氏（株式会社　DS in Japan　代表取締役）

17:15～18:00　質疑応答、ディスカッション（モデレーター：大野 泉）

18:00　閉会

【スピーカー略歴】（登壇順）

澤 昭裕 氏（アジア太平洋研究所（APIR）副所長・事務局長）
経済産業省産業技術環境局環境政策課長、資源エネルギー庁資源燃料部政策課長、東京大学先端科学技術研究センター教授等を経て、21 世紀政策研究所研究主幹、NPO 法人国際環境経済研究所所長、キャノン・グローバル戦略研究所リサーチオーガナイザー、アジア太平洋研究所副所長などを務める。著書に、『精神論ぬきの電力入門』（新潮新書、2012 年）、『エコ亡国論』（新潮新書、2010）、『大学改革 課題と争点』（東洋経済新報社、2001）などがある。

大野 泉 氏（政策研究大学院大学教授、APIR上席研究員）
米国プリンストン大学ウッドロウ・ウィルソン・スクール公共政策大学院（MPA）。国際協力事業団（現在のJICA）、世界銀行、国際協力銀行などを経て、2002 年より現職。2012～2014 年度にかけて APIR・GRIPS「中小企業の東南アジア進出に関する実践的研究」プロジェクトリーダー。著書に、『町工場からアジアのグローバル企業へ』（編著、中央経済社、2015 年）、『BOP ビジネス入門』（共著、中央経済社、2011 年）、『日本の国際開発協力』（編著、日本評論社、2004 年）など。

安見 義矩 氏（ユニカホールディングス株式会社 代表取締役社長）
中央大学法学部卒業後、2 年間の会社勤務を経て、1965 年に起業。各種ドリルなどの電動先端工具の製造販売を行う。早くから内需の飽和を見越し、1995 年に中国、97 年にベトナムに進出。進出先のベトナム・ホーチミン市では、1996 年から子会社を通じて、現地に進出する中堅・中小企業向けにマネジメント機能付き工業団地の運営を行っている。その実績が評価され、2013 年にはホーチミン市からベトナム裾野産業育成支援を依頼され、2014 年 12 月、同市で新たに「Vie-Pan Techno Park」（日系中小企業専用マネジメント付きレンタル工場）を立ち上げる。

荻原 強 氏（有限会社 荻原鉄工所 代表取締役社長）
中央大学法学部卒業後、機械メーカーでの修行を経て家業の荻原鉄工所を継ぐ。荻原鉄工所は 1970 年に群馬県伊勢崎市で創業、金属部品切削加工、精密加工を専門とする中小企業。2008 年のリーマンショックを機に、今後の事業展開とビジョンを策定するため、「海外視察をもって国内特化」という結論ありきの海外視察（フィリピン・ベトナム・タイ・台湾）を敢行するも、海外展開の不可避を実感。急遽 180° 方向転換し、海外との接点を構築すべく模索を始める。海外進出に伴う様々な困難を乗り越え、2016 年 4 月にベトナム（ホーチミン市）に現地法人を設立予定。

山本 雄次 氏（株式会社 DS in Japan 代表取締役）
ベトナム・ハイフォン市生まれ。1990 年に両親とインドシナ難民として来日。ベトナムと日本の架け橋として活躍する若手企業家。2008 年にベトナム人通訳・諸手続支援を行う VN.インターナショナル株式会社を設立。その後、日越ビジネス＆日越人材のマッチングを行うプロフェッショナル集団である、DS in Japan を立ち上げ、ベトナムとのつながりを大切にしながら、日越ビジネスマッチング、技能実習生サポート、ベトナム人技術者輩出、在日ベトナム人語学講座サポート等を行っている。

【共同研究出版図書】

「町工場からアジアのグローバル企業へ―中小企業の海外進出戦略と支援策」（執筆者チーム：大野泉（編著）、大野健一、領家誠、関智宏、村嶋美穂、中央経済社、2015 年 5 月）

どんな企業が出るべきか、どんな支援が必要か－アジアとの「ものづくりパートナーシップ」と「つながり力」をキーワードに、共創時代の政策ビジョン、海外展開の選択肢、支援のあり方をケースをまじえて示す。